

備えあれば憂いなし! Report

介護学習会

男女共同参画推進部



12月25日(木)に、「介護学習会」を「あなたの家族にもし介護の問題が起きたら?!」というテーマで、今年度初めて開催しました。福井市介護保険課の古橋有紀さんが「介護保険制度のしくみと内容」について、そして介護・保健・福祉など高齢者の相談窓口である「地域包括センター」について、福井南包括支援センターの猪野実さんが支援内容を説明してくださいました。



そのあと、劇団「たからぶね」さんによる認知症サポーター養成講座(中学生版)の「認知症に気づくポイント」を参観しました。この講座は介護に携わる方々が、劇を通して認知症の理解と支援のために数年前からボランティアで取り組んでいる活動です。認知症のおばあちゃんの名演技と、指南役の殿様の滑稽さに会場は笑い声に包まれました。認知症の高齢者への対応のしかたと介護支援について、クイズや劇への参加を通して楽しく学ぶことができました。参加者からは、「介護の窓口や認知症の対応のしかたなど具体的に知ることができてよかった。」「頼る場所がわかったことで安心して働ける。」という感想が寄せられました。

本年も12月末に「介護学習会」を開催する予定です。扱ってほしい内容等がありましたらご連絡ください。

Q:

家族に介護が必要になった場合、まずどこに相談に行けば良いのだろうか?



Q:

介護の施設にはどんな種類があるのだろうか?どんな介護認定を受けた人が入所できるのだろうか?



A:

まずは、居住地の「地域包括センター」に相談に行くといいですよ。介護サービスが必要になったら市町の「介護保険課」が介護認定申請をします。普段から「かかりつけ医」をもつと安心です。認知症の相談も同じです。

A: 次のような種類があります。

- ・指定介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
- ・介護老人保健施設
- ・指定介護療養型医療施設

入所施設を選んで、利用者が直接申し込んで施設と契約を結びます。介護認定については状況によりますので詳しくは市町の「介護保険課」へ。

劇団「たからぶね」：認知症の対応についての寸劇



劇団「たからぶね」さんの認知症サポーター養成講座は学校での公演が可能です。詳細は県教組までお問い合わせ下さい。

おばちゃん：「おばちゃんの財布ないんやって!あんだ、とったやろ!!」

参加者：「おばちゃん、どこに置いたか覚えてる?一緒に探そうか。」